寺町界隈

TERAMACHI-KAIWAI

わたしたちの町の、わたしたちの情報誌。 11月号 ■発行／寺町のまちづくりを考える会事務局☎21-3461 ■通算11号

平成7年9月23日～25日実施

長野 松本市視察 写真報告

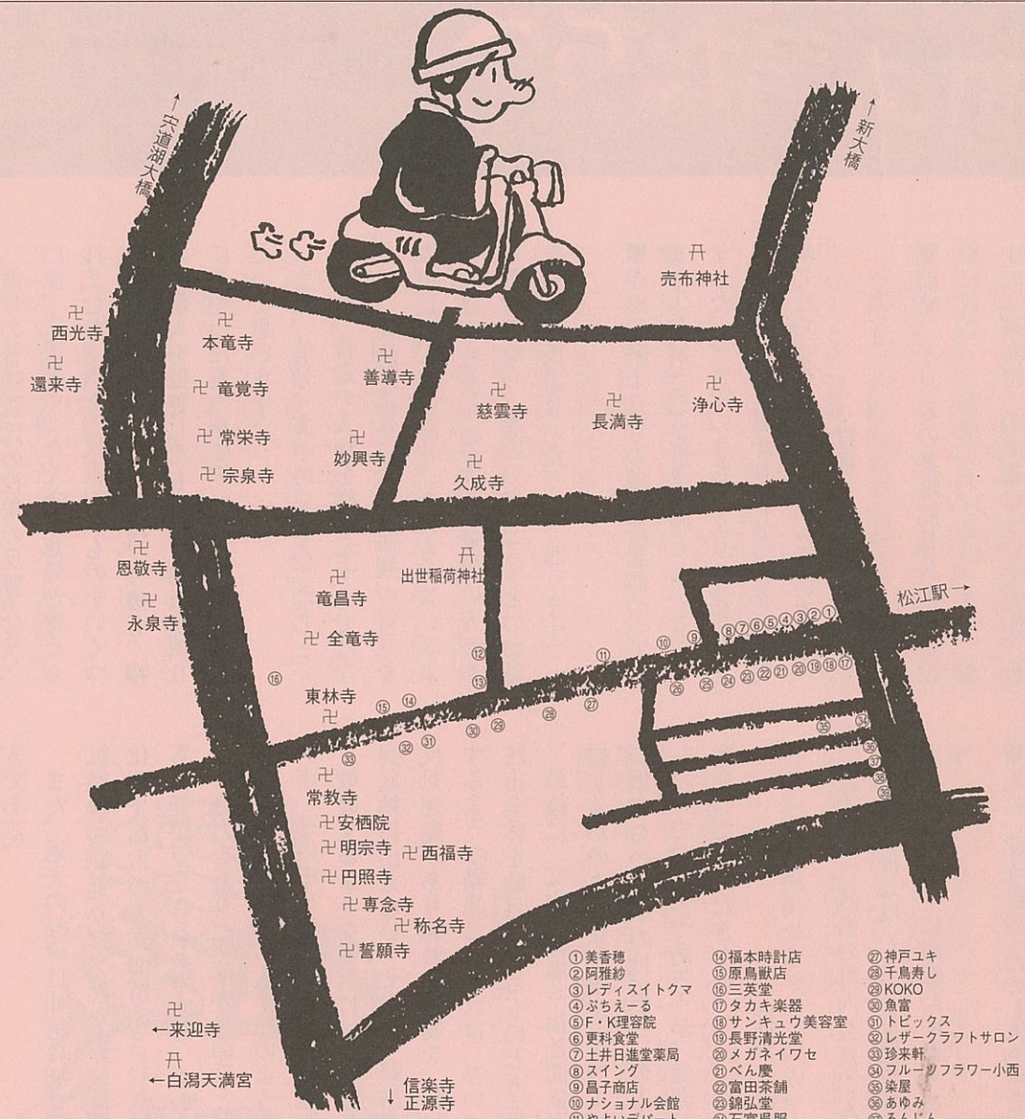
去る9月23日から25日までの3日間、30名の参加者の方々と一緒に『街なみ環境整備事業』視察の旅を行いました。そこで今回、松本市視察の写真報告を特集として組んでみました。

松本市のお手並み拝見いたしましょう！

重要指定文化財 開智学校
明治時代に建てられた擬洋風の小学校

国宝 松本城
松平直政公は、ここから松江城に来られました。

松江 寺町界隈 てらまちかいわい 地図



編集後記

まず、松本市内の建物の古さに驚いた。古くておしゃれな建物が結構たくさんあった。（もちろんただ古いだけの汚い建物もたくさんあった。）再開発できれいになってる建物も目に付くが、様式が一様で安っぽく見える。古いおしゃれな建物はあの様にならないでほしい。建物の個性を生かしてリニューアルすればもっと良くなるだろう。個店の個性のない再開発はいただけない。

民芸店風でミスマッチな美容室は面白かった。（高木）

「自転車のうしろにバットをはさんで、かごにグローブ、手にツリザオ」こんな子供（ガキ共）の姿はどこへいったのか。

遊び場が公園に、駐車場に。どんどん遊び場がなくなっていく。

道路にかかれたチョークの「月、火、水、木、……」こんな風景もいまはない。何か大事なものをなくしているのでは…

そんなガキ達のレクイエムがきこえてくる。（尾郷）

おかげさまで、新聞一面やゴシップ誌等にも当地が登場し、反響もあり、喜んでます。我々は常に媚びることなく、オープンに議論をしているつもりなので大歓迎です。ただ、一年近くも経つのに、具体的な国際文化観光都市にふさわしい代案がないのが寂しいです。近々、各政党に具体的な町作りの案や政策を公開アンケートするとかも考えています。勿論、責任ある案なら、地域の説明会を小生個人は是非したいと思ってます。（錦織）

「掲示板」記事募集！ 皆様に自由に使っていただく掲示板です。話題や情報、ご意見など、どうぞご自由に利用ください。送り先は事務局までどうぞ。

寺町のまちづくりを考える会
事務局 〒690 松江市寺町199 錦弘堂食品店内
TEL21-3462 FAX21-3461

松本視察写真報告

◆撮影／西尾誠治（松江市都市計画課）

伊織霊水公園……５月には美しいアヤメが咲きます。

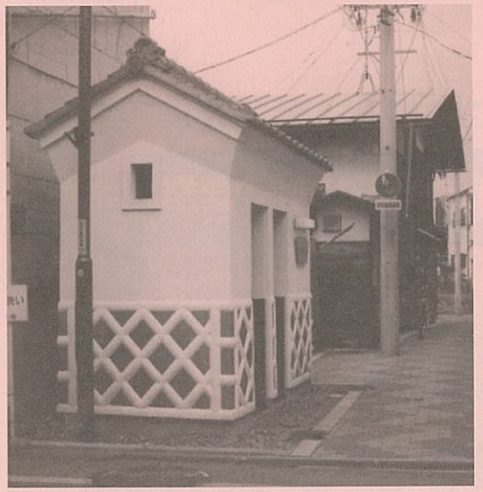
中町商店街振興組合の駐車場。土塀と竹林で美しく修景。

下町会館。昔の建物をそのまま生かした集会所で、下町地区のシンボル。総事業費は1億7千万。

上土ふれあいホール（商店街振興組合の事務所）。これと後ろの立体駐車場は通産省の高度化資金で作ったそうです。総事業費は７億円。

松本市の修景補助（150万）を受けたお店。実はこれ、カレー屋さん。

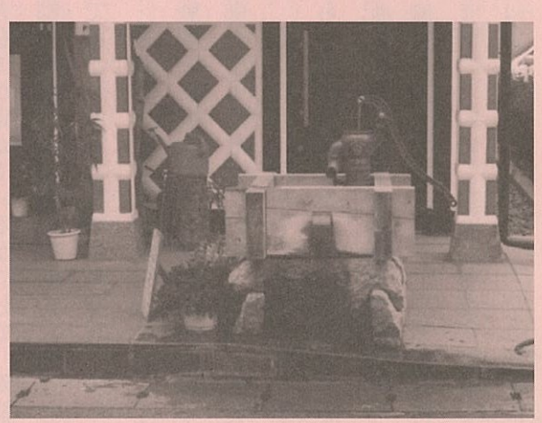
辰巳の庭公園……夜には美しくライトアップ。近くの映画館を訪れる、恋人達の語らいの場。



土蔵風の公衆トイレ。中町地区のキャッチフレーズは“蔵のある町”

修景補助を受けたお店とポケットパーク

縄手通り。昔ながらの露店が並び、いかにも下町といった風情。



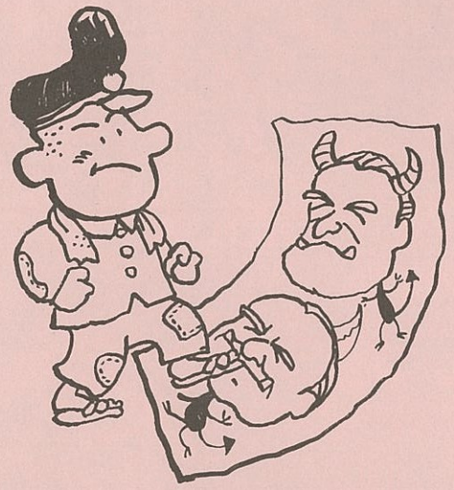
あちらこちらで見られた地下水の自噴。飲みたくなるほど、きれいな水でした。

新シリーズ

下手の長談義

長谷川　良睦

人間の頭の回路のひとつにどうやら人の名前と顔の記憶について特別な回路があるようだ。私はこの回路が粗悪品らしく、街角で声を掛けて貰いながら、「どこのどなた」の記憶が全くなくて戸惑うばかり。失礼この上ない体たらくは日常茶飯事である。かつて教職にあり、万を数えるほどの教え子たちがいるので、声を掛けられたり、目礼されたりする機会が多いだけに街を歩くのが苦痛になる。同僚の中には一見で直ぐインプットする極めて回路の優れた者が多く、生徒の顔と名前を覚えることが教育の第一歩とすれば、その意味では私など教師失格といえる。



さて、前置きが長くなったが、この情報誌に執筆するにあたり、少年時代の世相を書き綴れば、「寺町界隈」の名に相応しいかなと往時について頭を巡らしてみても、記憶の回路劣悪な者にはストーリーのあることは無理難題で、細切れの記憶を語るしかない始末であるが、戦争終結五十周年に因み、戦争当時の寺町の少年はどう過ごしていたかを中心に、思付くままに筆を執ってみよう。

小学校二年生のとき、第二次世界大戦が勃発し、六年生のとき終戦。私の小学校時代はまさに軍国少年を絵に描いたような時代であった。新大橋の袂にはルーズベルトとチャーチルの似顔絵が描いてあり、それを鬼畜米兵と叫んで踏みつけていたこと、大詔奉戴日（十二月八日）には—そのころ毎年雪が積もっていたと思うが—積もった雪を踏みしめて、全校裸足で氏神さんに参拝したことなど戦争一色の日々であった。だから、遊びといえば兵隊ごっこ。おもちゃの機関銃に鉄兜。宗泉寺や久成寺、わがお宮の境内で、物陰に隠れながらダッダッダッーンと声勇ましく撃ち合ったこと、年嵩のものから、お前は手柄を樹てたから上等兵にしてやるといわれ喜んでいたことなどが鮮明に思い返される。学校でも同じこと。銃剣術を教えられたり、葡匐（ほふく）前進（今でも仕方を体が覚えているが）して、陶器製の手榴弾を投げる訓練をさせられたりしたものである。教室には少年航空兵、少年戦車兵…募集のポスターが張り巡され、子供心に戦車なら安全かと心密かに少年戦車兵に志願しようと思っていた。音楽といえば軍歌、登下校も上級生を先頭に軍歌を唱いながらの分隊行進であった。行進を分隊行進と記したのは学校が軍隊組織に似せられて、職員室の出入りには、「第何分隊何某入ります」とわめくように名乗ってはじめて入室が許され、退室する時も同様に「第何分隊何某帰ります」といって退室したからである。

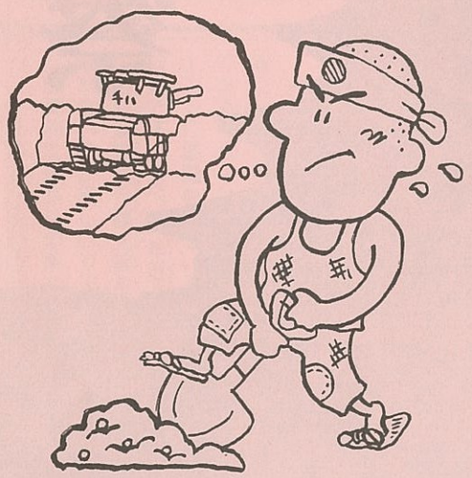
こんなことの続く中、それでも子供らしい無邪気なこともあった。学校の帰り、灘町から天神町の通りに出ると、当時はメーンストリートだから、荷馬車の往来が多い。馬方が前を向いている時に後から荷台に飛び乗り、見付かって叱られるのが楽しくて、大声で叱られると嬉々として喜んだものである。あるいは、悪童連中と全龍寺や龍昌寺の墓を通って、社務所の裏にある作道を抜けて帰ることがあったが、途中、枯れ草が積まれ、火が付けてあるのを見付けると、消防と称してシッコを振り掛けて遊んだことも再三であった。あるいはまた、友達と一緒に親に内緒で子犬を飼ったが、餌に窮し、仕方なくて、当時埋立ての先端にあったボート小屋のところでグレンチャを釣って、犬に食わせた思い出もある。そういえば、当時は社の境内に鳩が多く集まっていたので、篭に棒を立て掛け罠を仕掛け、豆を餌に捕まえて、友達と一緒にこれまた飼ったこともある。

しかし、こうした他愛もない遊びに明け暮れしながらもお腹はいつもグウグウであった。給食といえば大豆の豆ご飯はまだご馳走で、アラメ入りだったり、雑炊だったり、スイトンだったりで、今でも私のご馳走のひとつが雑炊となっている。

脈絡のない話しになるが、食事のことを書いていてふと思い出したことがある。北寺町の表通りの龍昌寺の隣あたりにTさんという魚屋があったが、燃料がないからなのか、漁をする人手がないからなのか、店先にあるのは恵曇あたりから汲んで来たと思われる桶に入った海水であった。つまり塩も貴重品という訳である。いやはや大変な食料難の時期であったものだ。

食料事情の悪化によって、校庭は勿論芋畑、埋め立て（年配の方は先刻承知だが、今の湖岸の白潟公園をいう）も畑になり、各家庭も家の周りはカボチャなどの畑と化す風景と相なった。近頃よくいわれる家庭菜園などという優雅なものでなく、その風景は生きるための必死の営みの姿であった。

というようなことから、終戦近い頃は授業どころか畑作業に精を出し、時には勤労動員での工場勤務であった。そういえば、呉海軍工廠が東朝日町に疎開していたため、そこに出掛け、施盤据付を手伝ったり、砲弾を磨いたりしていたことや確か茶臼山付近だったと思うが、そこに出掛けて戦車戦の蛸壺堀りをした記憶がある。



寺町の男たちへ

前号の蕃随院氏の投稿の反響大きく、口頭、文書等で、たくさん意見が寄せられました。以下、代表的なものをいくつか掲載します。事務局では、今後も、特定の個人を批判したものや、明白な誤りに基づいたものをのぞいて、極力掲載したいと思います。

また、前号、文中の『老人』たちというのは、特定の人物を指し示すのではなく、一般的な世代間の価値観の対立を表現したものであり、もしも、若い頃より遊びや社会への反発と無縁の方がおられたのなら、謝罪いたしますとのお話を蕃随院氏よりいただいております。

♥寺町界隈十月号の編集後記欄の「てらまち―FM」のご提案素晴らしいと思いました。今までのまちづくりの発想とまったく違うのに魅かれました。もしも、実現したら、是非参加したいと思いました。

投稿　匿名希望（女性）

♥前略、十月号の蕃随院長兵衛氏の投稿に対し、一言申し上げたい。まず、文中の「遊女町」の表現についてだが、仮に歴史的名称であるとしても、現在そこに居住している方々の感情に配慮すべきである。

また、過去の経緯は如何にせよ、県道拡幅後の駅通りは当然ながら、国際文化観光都市の表玄関にふさわしい格調ある姿が望まれると考える。幸い、行政のご努力もあり、駅前の再開発と県立美術館が予定されている。そのような状況の中、その中央にギャンブル施設の建設を歓迎するような発言には、市民として到底納得出来ない。その上、県内各地で反対運動があり流れた代物を、仮に誘致するような結果ともなれば、ひいては松江市全体を駄目にするものと考える。

最後に、文中、補導や福祉関係者を揶揄するかのような表現がある。これは、当事者らの日頃の地道なご努力を理解した上での発言であろうか。是非とも謝罪をしていただきたい。

投稿　匿名希望

（編集部注）該当の町内会長さんには、歴史的名称とはいえ、不適切な表現であった点、すでに謝罪してあります。

♥先日、北寺町の「たのしみ会」さんにお邪魔させていただき、まちづくりについて話し合いました。街なみ環境整備事業↖

寺町の男たちへ

についてご理解いただき、協力をお約束いただきました。ありがとうございます。

まちづくりに関する活動歴では、我々よりはるかに経験のある会であるのに驚きました。

今後も、各町内の実働部隊である若手の方との意見交換を進めていきたいと思います。

万代町　錦織　伸行

♥今度の寺町界隈、おもしろかった。（いつも楽しみにしているが）ホントの話がないと町の活性化は進まんヨ。宝くじは、絶対に博打になっチョウシ、パチンコだって、ホントいえば、両替は法律違反だワネ。そーに両方とも、店ン前はポスターだらけで、にぎやかだがね。（松江城の）まわりならイケンかモッセンけど、ここなら、マア、いいワネ。ワシなんか、なんでもすーけど、（施設）が出来たら、近テ、いいわネ。

宮島にイカンデいーけん、朝、券だけ買っチョイテ、仕事したり、他ンことして、夕方、アタリ見にイカイイケン、宝くじと一緒ダワネ。

だいたい自分が稼いだ金、ナンニ使わが、ソギャンコト他人に言われたくないワ。

ついでに馬もヤレヤ。

投稿　匿名希望

♥天高く馬太る秋、一年中で一番いい季節になりました。

錦弘堂さんなど各お店の店頭には新鮮な果物が豊富に出回っています。しかし市内で収穫出来るのは、西条柿ぐらいの物です。

西条柿にはビタミンCがたくさん含まれており、美容と健康に大変効果の有る果物です。市内近郊農家育成の為にも、皆様ヘルシーな西条柿をたくさん食べましょう。

投稿　本庄の柿づくり農家

■お店紹介

年中無休・24時間営業

■駐車場完備

コンビニエンスストア ポプラ POPLAR

松江黒田店　島根県松江市黒田町499-1 TEL（0852）32-8505

ごあいさつ

このたび駅通り拡幅により、皆様にご愛顧頂きました昌子商店がポプラ黒田店として生まれかわることになりました。黒田町にお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。お待ちしています。また電話での注文は従来通り配達を致しますのでお気軽にお電話下さい。

☎24-0345（ご用聞き専用）
昌子商店 店主

お店紹介

おこのみ焼＆こっぱん焼　手毬（てまり）
〒690 松江市寺町203-1
PHONE 23-8770

居酒屋 郷
万代町、ワダ美容院ヨコ
年中生ビール有マス
席数11席　貸切OK
TEL 22-0922

菓子卸（イベント承ります。）
清原靖弘商店
万代町199
（TEL・FAX）21-0039